



## 「熱心な執り成しの祈り」

創世記一八・16～33

牧師 安藤 脩

キリスト教の特徴的な祈りの一つが「執り成しの祈り」であります。そして今日の聖書箇所は、執り成しの祈りの代表的なところです。

アブラムが、主により更なる祝福と使命を持つ者としてアブラハム（諸国民の父）と改名された年、三人の旅人がアブラハムのもとにきました。99歳のアブラハムに来年、サラ（89歳）との間に男子が生まれることを告げました。神の約束が、ついに実現する喜びの知らせです。しかし、この世界的な豊かさを追い求めたロトにとっては、試練を伝えるためでした。アブラハムに祝福を告げた後、この旅人（主と御使い）はソドムを見下ろす所へ来ました。アブラハムも見送りのために来ました。主はソドムとロトに起こることを、アブラハムに告げることもなく、ひそかに行うことを良しとしませんでし

2015年秋号

日本キリスト教団  
横浜岡村教会

〒235-0021

横浜市磯子区

岡村 4-25-39

TEL.045(751)3917

牧師

安藤 脩

た。なぜなら、神はアブラハムを「わたしの愛する友アブラハム」（イザヤ41:8）と呼んでいます。「友」と呼ばれる関係が、どんなに愛と信頼に満ちたものであるかを知ったとき、私も喜びと感謝に満たされました。イエス様は「わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。」（ヨハネ15:15）とあるように、神の子・イエス様は私たちを愛と信頼で満ちた友と見ていてくださるのです。

主は、アブラハムにソドムの滅亡を語りました。ソドムの罪状が訴えの通りであるか、いま直接、確認するためにソドムに行くのだと言うのです。これを聞いたアブラハムは、主に訴えました。「あの町に正しい者が50人いるとしても、それでも滅ぼし、その50人の正しい者のために、町をお赦しにならないのですか」（24）と。アブラハムは主の公正と慈愛を信じていました。主の正義とは、単に悪い者を裁く義ではなく、正しい者を守

り生かしてゆく義であることを。その通りに主は「もしソドムの町に正しい者が50人いるならば、その者たちのために、町全部を赦そう。」（26）と言われました。でも、正しい者が50人いるか不安なアブラハムは、自分が恐れ多くも栄光の主にもこのように願う資格等ない、塵あくたにもすぎない（27）ことを知りつつも、更に、45人いたら、40人いたらと、可能性を求めて食い下がります。ついに、10人になるまで6回も粘り強くお願いしました。

6回も同じ品物を値引きするよう交渉する人はいないでしょう。私など、一回お願いできればましな方です。アブラハムだって、自分の利益のためだったら、これほど粘れなかったのではないでしょう。他者のため、愛する者のためだからこそ、神に食い下がって祈ることができたのでしょうか。

「くどくどと祈るな」と言われたイエス様が、ゲッセマネでは三度同じ言葉で祈った末、全てを委ねられました。しかしイエス様は、人間の救いのためには一歩も退かず、命を懸けて執り成してくださったのです。私たちも愛する者のために祈りましょう。そのように祈れる心の友を持つている人は幸いです。

証し

## 神様の立てた計画

(エレミヤ書29章11節)

池田 久子



金沢八景の六浦に、戦時中は兵舎として使われていた寮がありました。

そこに終戦後、戦災者が入居出来ましたので、父、次姉、長兄と落ち着きました。兄は二度目の招集で鹿児島にいましたので、除隊となり直ぐ帰ることが出来ました。兄が理髪店を開業したいと空き家を探しました。根岸橋近くの上町に、床屋にするに丁度良い空き家を見つけ、引越して来ました。

或る夕方、根岸橋近くの銭湯に行くため家を出ました。橋のたもとに人だかり、太鼓を叩き、コルネットを吹いて讚美歌を歌っていました。路傍伝道です。近づいて見ますと一人の女性が電灯の光に照らされて、神様から受けた恵みを熱心に話されていました。内容は覚えていませんが清い姿に心が打たれました。後で分かったことは、話されておられた方は、後に、梅沢牧師の二度目の奥様となる清子姉でした。太鼓は杉山兄、コルネット

は主人の父の峰治でした。近くに教会が在ることが分かり行ってみました。家から四、五分の距離に在る上町の町内会館を借りて、初代の梅沢幸太郎牧師、トクご夫妻が伝道しておられました。

教会の始まりは、根岸橋の直ぐ近くで、水道工事の仕事をしておられた井ノ口さんとおっしゃる方の妹さんの礼子姉が、自宅で日曜学校を始められたことによります。戦後のことで、すぐ人数が増えたので、町内会館を借りて行なわれました。

私の家の近くに在る坂下公園の横に、山に登る百六段と言われていた石段があります。登り詰めると森林公園に行ける道です。途中の平地に、当時、駐留軍の家族が住む、お庭の広いハウスが建っていました。そこで働いておられた方が五、六人教会に来られていました。夜の集会に一人で来られた方を、石段の登り口まで送って「上に着いたら合図して下さい。」と見送って行ったことを思い出します。その他、交通局の方々や若い人達が、大勢来られていました。その中に主人となる昭夫もいて、私たちは、梅沢牧師の紹介で結婚しました。

最近このことを家で主人と話していました。戦時中、今住んでいる近くの道は疎開道路と言って、道を広げるため家を壊したので、一面が野原となっていました。終戦間近、この原っぱに取り残された水道から水が流れ出ていました。その頃、空襲で三度焼け出された私達は、疎開された方の空き家の離れを借りて住んでいました。そこは、私たちが今住んでいる下町に近い所でした。遠くに見える水道まで洗い物を持って行き、水を使っていました。その水道の所から程近い場所に、取り残された家が見えるので眺めていました。そこに主人となる昭夫一家が住んでいたとは不思議です。主人の父も亡くなり、妹、弟もそれぞれ独立し、その家はもう有りませんが、その隣に主人が家を立て、今ここに暮らしていることが全て神様のお導きでしょうか！

私は梅沢牧師より、昭和27年3月29日に洗礼を受け、神様の子供とされた喜びと感謝で一杯の日々です。自分の弱さ、虚しかった人生から贖い出され、神様に依りすがり、御言葉に励まされ歩む今を感謝しています。

(創立66周年記念礼拝にて)



## 私の信仰

関口 星子

私の信仰は、浅く未熟なものです。「今から新しいことを成す。」と神様が起こして下さっています。何年か前から青年聖歌100番の「誰にも言えない」が、ずっと心の支えになっています。

叩誰にも言えない事をイエス様はご御存知だ、グロリア・ハレルヤ、喜んで悲しんだり、ああ主よ、落ち着かない私です。ああ主よ、誰にも言えない心の中をイエス様は御存知だ。グロリア・ハレルヤ、疑ったり躓いたり、ああ主よ、問題の魂です。ああ主よ、誰にも言えない心の中をイエス様は御存知だ。グロリア・ハレルヤ。幾度もやり損ね、ああ主よ、今日こそ信じます。叩

これが私の信仰の姿勢です。幾つかの言葉によって支えられここまで来ました。その時々でその言葉が思い出されます。菅野鋭牧師からは「星子さん！御言葉を離れたら何一つ出来ないんだよ」と言われ、その通りと理解しました。『人はパンだけでは生きられない』も心に残りま

した。母は私と兄の為、いつも身を粉にして働くだけでした。会話のない母に生意気にもこの言葉をぶつけると、「何を言うの！」と一言のもとに叱られました。その母は、病床で洗礼を受けました。詩編23編『死の谷を歩いても災いを恐れませぬ。あなたが共に居られるからです。』の言葉を握っていたようで、見舞いに来る教会員が母のこの祈りで恵まれたと仰っていました。『わが魂を愛するイエスよ』私が神から離れ、誰からも愛されていないと感じた時、この言葉が頼りでした。『神は私に新しいことをして下さる』最近になって頂いた御言葉です。『胎内に居た時から、白髪になるまで、なお運ぼう。』老いて体が不自由になった自分の毎朝の励みになっています。

先日、ひ孫の100日の祝の時（現在7才）、笑っていた赤ん坊が急に泣き出しました。『世に在りて悩みあり』の御言葉が浮かびました。赤ん坊でも、サタンが働いて不安に襲われ可哀そうだなあと感じました。最近『神様、あなたは私に何を望んでおられるでしょうか』と言う祈りに驚きました。それは、ネヘミヤが捕虜になった時の祈りと、十字架に掛

けられたイエスの祈りが同じであり、私もこの様な祈りをしたいと思ったからです。私は母が召される前に聞きたいことが有りました。兄は慶応、私はフェリスに通っていましたが、それぞれに不満がありました。母の子育てがどの様な思いだったのか？その気持ち私には通じなくて分りませんでした。今やっと分かりました。それは、息子が病のあとリハビリのため家に居るようになって、神の恵みを話す機会が与えられたからです。神様に感謝しています。母の沈黙をそのまま受けとり、救いを頂きました。

『常に喜びなさい。もう一度喜びなさい。』と念じています。私の信仰は未熟で浅く、年ばかり取って、中身はこんなものでありましたが、今を大切に、新しくなりたいと願っています。

追記\*母が召されて4か月が過ぎ、遺品整理の際に6年前の原稿が示されましたので投稿させていただきます。関口猛

(母の略歴)

明治44年2月23日生

大正14年5月23日受洗（磯子海岸にて）

平成27年4月13日召天（104才）

### キリストの真の弟子になるため

牧師・安藤 脩

アシユラムはスタンレー・ジョーンズ師が日本に伝えた信徒訓練であります。「キリストを信じているに違いないが、単なる信者に止まり、真の弟子になつていないという反省が発点である。」とその目的を記しています。

私たちの教会では、1982年、第1回岡村アシユラムが横山義孝牧師を助言者として開催されました。「当時の会員たちは喜んでこれに参加し、徹夜の祈祷会にも、誰も文句を言う人はなく、数名の兄弟は教会に泊りがけで祈りました。」と聞いています。

今年の第34回岡村アシユラムは、7月18日(土)から19日(日)に、今まで何回もご指導いただいた横山義孝牧師を迎えて行われました。それに先立ち、ガラテヤ書とフィレモン書を読んで、一週間の準備祈祷をしました。最後の日の24時間連鎖祈祷は、空欄無く連鎖をするために、担当の方の呼びかけがあつて達成できました。この準備祈祷で自分を見詰め、自分の足らなさと真の必要、願い(ニード)

を見出すことが恵まれる秘訣です。

アシユラムは、主に向かつて自分の心を開き、主に自分を明け渡す「開心の時」が最も大事だと言えましょう。ここで、正直に自分のニードを述べるのです。それに引き続き、小グループに分かれての「祈りの細胞」がアシユラムの特徴です。ここでも各自が開心することで、皆が主の助けを必要とする同士であることが分かります。そしてグループ内の人のために1年間祈り合うことで、主にある兄弟姉妹としての交わりが深まります。

主日の礼拝を「福音の時」として守りますが、横山師はガラテヤ書5章16(26節から「霊の導きに従う生涯」と題して「クリスチャン生活は、聖霊(神)の導きに従う生涯である」と言える。モーセに導かれたイスラエルの民を例に取り、私たちも自分勝手に歩むのではなく、毎日毎日、神様の御旨を伺いつつ歩むことが出来るなら、幸いに満ちた、生甲斐に満ちた、喜びに満ちた、平安な人生が待っている」と語られました。

そして今年のファミリーアワーでは、私たちの教会のテーマとビジョンを確認し、更にそれを達成するために何をしたら良いかを検討しました。私が横浜岡村

教会に就任して23年目に入っていますが、新会堂が完成して10年。借入金返済も終えました。主のご使命を果たす教会として、更に成長するためには、良き後任者が与えられることも必要です。幸い、牧師交代をしたばかりの姉妹教会の清水ヶ丘教会からも2名の参加者があり、いつごろから、どのような祈りと準備をされたかを話していただき、大いに参考となりました。



第34回岡村アシユラム

## 特集・第34回 岡村アシユラム (2015年)

### ファミリーアワー

坂本 浩

毎回岡村アシユラム・第1日目の夕食後は、参加者の交わりをより深める時として持たれています。

今回は「今後の横浜岡村教会を考える」というテーマで話し合いました。

初めに軽い運動と脳トレをした後、安藤牧師より、主の栄光を現すための岡村教会長期ビジョン『礼拝出席100名を守る教会』『教会員子弟が信仰を受け継ぐ教会』『生涯信仰生活を守り抜く』を達成するためには、今後どう歩むべきかなどについて提言がありました。

先生は信仰生活を通し、高齢になられた牧師が、第一線に拘ることで及ぼされる、様々な弊害を体験してきたことを話されました。さて、岡村教会はどうしますか、と。先生の宣教活動に対する率直な思いを聞き、少々戸惑っていた方もいたかと思いますが、私たちもこのことを真剣に受け止め、御心を求めて祈って行かなければ、との思いにさせられました。「わたしたちは、霊の導きに従って生きていけるなら、霊の導きに従ってまた前進しましょう。ガラテヤ5章25節」

### 静聴を担当して

井上 義勝

第34回岡村アシユラムは7月12日(日)の準備祈祷から始まりました。聖書箇所はガラテヤ書1章(6章とフィレモン書1章)です。ガラテヤ書は「人間は律法の行いによらず、イエス・キリストを信じる信仰によつてのみ、救われる」という信仰義認論が述べられています。又、姉妹編のローマ書も読んでみました。そのローマ書の中で、8章を示され静聴の聖書箇所になりました。

アシユラム2日目、7月19日(日)午前8時からの静聴には、担当を含め8名が参加しました。黙読の後、皆さん示された箇所を恵みのうちに話されました。私の示されたところは28節です。「私たちクリスチャン、神様を愛する人々は、どんなに悲惨なことが、自分や周りに起こつても、後に結果的には、神様が全てを働かせて、善を成し遂げられること」このような解釈をもって、これまでの自分や妻に与えられた恵みを話しました。この静聴の担当を通して、多くの学びと、気付きをいただきました。

### 連鎖祈祷の時

間宮 富子

「祈りの時間表」が掲示されます。参加者が祈れる時間帯を、一時間ごとに担当して氏名を記入します。7月12日(17日)の間、自分の都合の良い時に祈る準備祈祷です。聖書を読み(ガラテヤ1章(6章、フィレモン1章)、黙想し、御言葉から示されたことを、記帳しておきます。そして、祈祷課題を祈ります。(助言者の横山義孝師のために。アシユラムで役割を担って下さる奉仕者のために。教会員の出席と他教会からも参加者が与えられるように。教会員がニードを持つて参加し、主に扱われ、霊性を祝されるように。教会ビジョンに向かって、皆が心一つになれるように。家族、友人、近隣の方々の救いと、長欠者の信仰回復のために。求道者のフォローと受洗決心者が起こされるように。その他、ニードを祈り求め、自分の持っている祈祷課題のために。前後の時間の祈祷者のために) 17日正午(18日正午は待望連鎖祈祷です。万全を期して、厳守です。兄弟姉妹心を合わせて神様のみを見上げます。この時、確かに私達の心に祈りの輪が形造られます。

# 楽しかった夏季学校

テーマ・「よいサマリヤ人」  
♪となり人は誰でしょう♪

1日(土)〜2日(日) 子供17名  
スタッフ7名。合計24名で教会にて夏季学校が行われました。よいサマリヤ人のペープサートを皆で作  
り、子ども達に見てもらいました。そして本当のとなり人になる事が出来るように、みんなでグループになって祈りました。ゲーム・制作・カレー作り。映画会・花火と盛りだくさんの内容でした。教会のホールに泊まるので、みんな少々興奮気味。  
夜は、静かになっ



ペープサート劇

ていたのでよく寝たのかなと思いましたが、ヒソヒソ話で寝られなかった子がいたようです。でも次の日もみんな元気に起きだして、礼拝に備えました。

普段、話しが出来ない子とゆっくり話が出来たり、お祈りが出来たり、祝福の夏季学校でした。今回は清水ヶ丘教会より、高橋勇樹兄が来て下さったり、マリア会よりお手伝いもあり感謝でした。



バナナ下級グループ



ぶどう中級グループ



りんご上級グループ



みんなでカレーライスを作りました



楽しいゲーム



かみひこうき作っています



## 子ども達の声

- ◎ 「よいサマリヤ人」を見て、ユダヤとサマリヤは仲が悪かったのにサマリヤ人がユダヤ人を助けたのがすごかった。
- ◎ カレー作りで玉ねぎを切って、たくさん涙が出て来たけど楽しかった。
- ◎ 花火がとってもきれいだっただ。友達と交換したり、おもしろかった。
- ◎ 紙飛行機をうまく飛ばせた。
- ◎ おふる(せんとう)がとってもきもちよかった。

## 人気ベスト5

- ① 花火
- ② カレー作り
- ③ 飛行機作り
- ④ せんとう
- ⑤ ペープサート



自分が折った飛行機を持ってはい！ポーズ！



人気花火



こどもアシユラム

安藤 善枝

当日15名程の子ども達とアシユラムを行いました。5名ずつの縦割りグループになり、スタッフがリードしていきま  
す。紙にそれぞれの今祈ってもらいたい  
事を書きます。その紙を左隣の人に渡し  
ます。そして皆で順番に自分の所に来た  
人の祈りの課題を心から祈ります。

この日のこどもの祈りから

- ◎おともだちが病気で教会にこれません。はやくなおりますように。
- ◎自分の事だけでなく、周りの人の事も考える事が出来ますように。
- ◎みんながもつと神様を知って生きていきますように。
- ◎自分の中に人をにくむ心があります。かみさま、ゆるして下さい。
- ◎きょうだいなかよくできますように。
- ◎勉強をがんばれますように。
- ◎教会に続けて来れます様に。
- ◎たくさんの方が教会に来れます様に。



土曜交わり会

関原 孝子

5月23日(土)、JOCSS(日本キリス  
ト教海外医療協力会)より、山内章子姉  
をゲストとしてお迎えし、土曜交わり会  
が開かれました。山内姉は、マイメイシ  
ン県を中心に、バングラーディッシュ国内で、  
派遣ワーカー、理学療法士として理学療  
法技術者の育成、障がい者へのリハビリ  
テーションに携わっていらつしやいます。  
礼拝の後、お証しを交え、スライドを使  
い、活動報告をして下さいました。受洗  
の時、「健康が守られ、人々から愛され、  
神様の仕事をする人になれる様に」と牧  
師から祈られたそうです。長い病院勤務、  
療法学科の教師としての職を辞し、バン  
グラーディッシュへ行かれました。「行け、  
行け」と聞こえる主の言葉に従い、働い  
ておられる山内姉は、益々輝いていらつ  
しやいました。「私はなりたい、キリス  
トを生きる人に」と言う賛美を教えて頂  
き、今回も清々しいお声を、聞く事が出  
来ました。日々祈り、主の御声に聴き従  
い、働いておられる山内姉  
は、受洗の時の牧師の祈り  
をしつかり生きておられ  
る方でした。



山内姉

須賀敏子姉を偲んで

早園 貞子

須賀敏子姉は1975年5月11日に  
ご夫妻共に、梅沢幸太郎牧師より洗礼を  
受けられました。

クリスチャンになられた敏子姉は、婦  
人会、又、野外礼拝にもよく出席され、  
婦人会の役員も心よく受けて、いろいろ  
ご奉仕を進んでして下さいました。

姉妹はとても人当たりがよく、ご自分  
からどなたにも話しかけて、相手に親近  
感を与える方でした。

滝頭に家を新築され、朝木家との生活  
が始まり、お孫さんの由貴恵さんも生ま  
れ、幸せな日々を過ごされた事でしょう。

その後、泉区へ移転され、体調もすぐ  
れなかつたりして、教会に来られなくな  
ってしまいました。

2014年4月より、肺がんによる闘  
病生活が始まりました。安藤牧師夫妻が  
たびたびお見舞いに行  
かれ、牧師の語られる  
お言葉、賛美によつて  
平安が与えられ、ご家  
族に見守られつつ、安  
らかに召天されました。  
(召天2015年6月  
17日)



9～11月 行事予定

9月

- 4日 小田宅家庭集会
- 8日 三教会交流委員会 (横浜岡村)
- 18日 日韓合同礼拝 (横浜港南台)
- 20日 敬老祝福式・祝会
- 20日 防災訓練 (救急救命)
- 21～23日 日本アシュラム全国大会 (第53回関東アシュラム) 東山荘
- 25日 横浜英和学院と近隣教会の懇談会

10月

- 2日 小田宅家庭集会
- 4日 世界聖餐日
- 14日 三教会統一祈禱課題祈禱会
- 17～18日 秋の特別伝道集会 (小橋孝一牧師)

11月

- 1日 召天者記念礼拝・愛餐会
- 7日 第10回岡村バザー
- 8日 こども祝福式
- 10日 三教会交流委員会 (清水ヶ丘)
- 13日 小田宅家庭集会
- 15日 聖書協会ラリー
- 22日 収穫感謝日 (教会全体清掃)
- 29日 待降節第1主日礼拝 (特別讃美)
- 29日 クリスマスツリー点灯式 (毎月第1主日 聖餐式、役員会) (毎月第4主日 各会の定例会)



JCの窓 (ジュニアチャーチ)

「夏季学校スタッフの声」

◎たくさんの子ども達と、大きなトラブルや怪我などなく過ごせたのでよかったです。普段の礼拝では、話す機会のなかった

子どもたち同士が、仲良く楽しそうにしていたので感謝。

◎子ども達が自分から進んで、トイレ掃除までしてくれていた。本当に楽しそうだった。

◎準備段階がしつかりしていれば、当日は祝福されると感じた。

最後にみんなで掃除をした時、自ら進んで全員で掃除が出来たので、とても

気持ちよかったです。

◎とても楽しかった。本当のとなり人になりたいと思った。

◎紙飛行機の折り方をイン

ターネットで調べたら、いろいろ出て来たので面白かった。制作の時間がもう少し欲しかった。



◎今年は、土曜の夜からの参加でしたが、子ども達の顔を見て、実りの多い夏季

学校だったんだなと感じました。

◎日曜の朝一時間ほどしか一緒に居られない子ども達と、寝食を共にする中で、一人一人が少しづつ成長していると感じられました。

集会案内

◎教会防災訓練 9月20日(日)

午後、消防署から担当の方が来て防災訓練を行います。今回は人工呼吸とAEDの使い方を教えて頂きます。沢山の方参加して下さい。

◎秋の特別集会

10月17日(土)～18日(日)

講師・小橋孝一師(新島教会牧師) テーマ「神を味方にする秘訣」 ぜひ、おいで下さい。

◎第10回岡村バザー

AM 11:00～PM 2:00

献品をお願い致します。

編集後記

今年も大変暑く、東京では約140年間で最長の猛暑日連続記録を更新しました。又、今年は戦後70年体制が大きく変わった年であります。横浜岡村教会も終戦後誕生し66年を迎えます。その歴史を物語る証が寄稿されています。是非お読み下さい。これからも充実した岡村の泉をお届けしたいと思います。夏の疲れもでてくるころです。

皆様ご自愛ください。(S・I)

